

新春トークセッション

「通訳ガイドの危機を考える」

2024年1月9日



Ijcee副理事長
山口和加子

通訳案内士試験受講者の減少と高齢化

≪通訳案内業試験（1949年～2006年） 当時は≫

「つぶしが効いた！」

※大手企業海外部門への就職配属に有利！

※男子学生が学費のためにチャレンジ！

（1999年3月末まで『女性の深夜労働』規制があったので
ナイトツアーは男性ガイドの独壇場だった）



過去: 専属契約

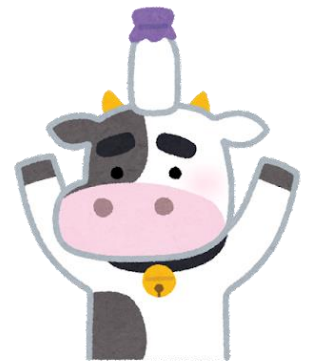
(専属通訳ガイドは)

- ◎身分と収入は保証される ⇒ 若者が就業しやすかった
- けれども、仕事を選べない。



(旅行会社は)

- ◎豊富なガイドでオペレーションも楽!
- けれども、オフシーズンのガイド活用に悩む
 - ※社員の英語教育講師
 - ※会社行事への参加
 - ※安全衛生教育の実施など



現在は

①受験者数の減少⇒「魅力が少ない？」

②高齢化⇒通訳案内士受験講座の受講生の年齢の上昇

③『旅行会社が働いてほしい日』に働いてくれる通訳案内士が少ない

④母国から引率してくる人、
空港の白タクのドライバーさんが
ガイドもしてしまう



どうしたらよいのか？①

A. 受験者を増やすために

- ① これを持ったら旅行会社が絶対採用する！という試験内容に！
- ② 外国の大学・研究機関に留学するのに有利！という試験内容に！
 - ※ 世界史・世界文化史の中での日本史
 - ※ 世界の火山帯や気候変動と結んだり、地政学的な観点から日本を捉えなおす



どうしたらよいのか？②

若い人に受験してもらうには

①若者の受験を促すためにアニメガイドや
J-ポップカルチャー、新しいスポーツ専門の分野を開く

②アニメツアーやスポーツツアーの開発

若い人に通訳案内士としての明るい将来を持ってもらうために

※報酬体系を明確にして、上がわかるようにする。



どうしたらよいのか？③

③外国人無資格ガイド問題には

※ある地域やある建物を案内するにはこの資格が必要！としていく

※国際条約や国際合意を結んで、国際標準化する。



⇔WFTGA

通団連HPより

